

「長安ロダム環境モニタリング委員会」の開催について

那賀川河川事務所では、平成 22 年度までに実施した「長安ロダム環境検討委員会」による長安ロダム改造事業の環境への影響検討結果に基づき、環境保全措置の具体的手法の実施、モニタリング調査等に関する技術的指導・助言を専門家からいただくことを目的として、平成 23 年 3 月 9 日に「長安ロダム環境モニタリング委員会」を設置しました。

モニタリング調査は、順応的管理に基づき、下記のような調査を行っています。

- ① 環境保全措置の効果を把握するための調査
- ② 工事中の環境配慮として実施する調査
- ③ 事業完了後の環境変化を把握するための調査

モニタリング調査は大気環境・水環境・植物・生態系（上位性）を対象として、平成 22 年度から随時行っています。



植物監視モニタリング状況



鳥類モニタリング状況

今回の会議において各委員からいただいた主なご意見は下記のとおりです。

- ・現地視察会では、今回の工事がとても難しいこと、また現場の人々が熱意を持って工事を行っていることがわかった。
- ・水色調査は、濁水の発生だけでなく、プランクトンの異常発生に気付く第一歩なので継続してほしい。
- ・植物の保全対応は、非常に熱心に取り組まれている。移植が難しい種については今後も生育状況を見ながら順応的管理を行う必要がある。
- ・猛禽類に対して、工事の騒音・振動等は影響が大きいため、営巣時期は特に注意してほしい。
- ・選択取水設備の施設運用による魚類への影響は、環境が悪化していないか・環境が良くなったかの二つの視点で調査地点を絞る必要がある。



以上を踏まえ、平成 27 年度モニタリング調査結果および平成 28 年度モニタリング実施計画書は了承されました。今後も環境保全措置および環境配慮事項についてご指導いただきながら工事の進め方に適宜反映させていただきます。